

## 第I部

被爆七〇年

——被爆体験の継承と二〇一五年NPT再検討会議

第一部に収録した論考は、二〇一五年七月二〇日に開催された国際シンポジウム「被爆七〇年——核兵器廃絶と被爆体験の継承を考える」（主催／広島市立大学・中国新聞社・長崎大学核兵器廃絶研究センター、後援／広島市・広島県・（公財）広島平和文化センター・（公財）ヒロシマ平和創造基金）での登壇者のうち四名の方に、シンポジウムの議論を踏まえ、新たに書き下ろしていただいたものである。なお、このシンポジウムの概要については、以下の既刊の新聞・ニューズレター、ウェブサイト上の記事を参照してほしい。

○『中国新聞』二〇一五年七月二七日朝刊（以下の同紙ヒロシマ平和メディアセンターのウェブサイトと同じ記事が収録されている）

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=48018>（二〇一六年一月二二日閲覧）

○『広島平和研究所ニューズレター』第一八巻第一号（通巻五〇号）

[http://www.hiroshima-cu.ac.jp/modules/peace\\_j/content0242.html](http://www.hiroshima-cu.ac.jp/modules/peace_j/content0242.html)（二〇一六年一月二二日閲覧）